

ひろしまのまちづくりレポート

発行にあたって

私達は、昨年『被爆100年広島市中央公園アイデアコンペ』を実施しました。その展開から、**ひろしまは**、①復興にあたり日本・世界からいただいたご恩を忘れてはいけない。"感謝し、できる形で恩返し"する責務を負っていること。②ひろしまを復興せしめた「広島平和記念都市建設法」は、今も生き続けていること。③被爆100年まで後33年、すべての被爆者が100歳を超える。私達は、ひろしま市民として自覚し、被爆を継承し続ける役割を担っていることを再確認することができました。

まちは、道路、公園、下水道、再開発、公共建築などで構成され、私達の社会活動や日常生活に大きな影響を与えます。これらは、行政の手で計画され、事業化されていきます。それらの動きに関心を示さず、自ら提案したり、意見を言ったり、行動したりはしません。自分達と直接関係しないことには、無関心なのです。そのため、残念なことに市民の大半は、その結果だけを知ることとなります。

このレポートは、市民による、市民のためのひろしまに再生する第一歩として、無関心が関心になることを願って、たくさんの市民に目を通していただけることを目標としています。また、自らまちづくりに提案を続ける人達に、まちづくりに関心をもつ市民がたくさん存在することをお知らせする役割も併せ持っています。**さあ、はじめましょうか。**

広島アイデアコンペ実行委員会 前岡智之

1. ひろしまのまちづくりの動き

いろいろな事業が計画、推進されているが、今回は3件紹介します。

○旧広島市民球場跡地利用の検討

・これまでの経緯

- 2005年9月、建設場所をヤード跡地とする「新球場建設の基本方針について」を公表
- 2005年11月～2006年1月、現球場跡地利用提案募集（民間事業者から26案提案）
- 2007年1月～3月、広島市民球場跡地事業計画案及び事業予定者募集（6案提案）
- 2007年8月、広島市民球場跡地事業計画案及び事業予定者選考委員会の選考結果の報告
- ・最優秀案：該当なし、優秀案：2作品（平和祈念堂、水な都（みなと）Mother's Stage）
- 2009年1月、市が「現市民球場跡地利用計画」を決定
- 2010年6月、市は球場跡地利用計画に基づくイメージ図と整備案の内容を公表
- 2010年6月、市議会は球場廃止条例案を可決
- 2011年4月以降、市長交代により球場跡地利用計画を見直し、跡地委員会を設置
- 2012年3月、ライトスタンド（保存）の一部を残し、球場解体完了



原爆ドーム側からみた整備イメージ図

球場跡地利用計画イメージ図
(2010年6月市が公表)



旧広島市民球場跡地現状
(読売新聞 2012.3.1付)

・広島市の跡地委員会の動き

2011年10月に球場跡地の活用策を考える跡地委員会を立上げ、**★都市の中核性、文化的な機能強化、回遊性、実現性等の視点**で議論し、12年度末までに活用策を出す予定。

*前市長時代の2006年5月、有識者による広島市民球場跡地利用検討会議は「現球場跡地利用の方向性について（報告）」を提出している。少なくともこれを乗り越えて欲しい。

今回の跡地委員会は各界各層から広く意見を聞くために、地元の経済界、商店街、若者の代表等で構成されている。いろいろなアイデアを出し合うのはよいが、それらを一本にまとめて具体的な方向性を導き出すためには、飛躍が必要となる。途中で頓挫しないように、一市民として成り行きを温かく見守っていききたい。



2013年広島菓子博イメージ図

○広島駅自由通路の計画

・広島駅の南北を一体化

広島市の陸の玄関として広島駅周辺が再開発されつつあるが、駅の南口と新幹線口が鉄道で分断されている。

そこで、広島駅周辺全体の回遊性を高めるため、南口と新幹線口をつなぐ広島駅自由通路が整備されることになった。

広島駅自由通路は、JR広島駅構内の2階部分を南北に貫き、南口と新幹線口をつなぐ、幅15m、長さ180mの通路。昨年度から準備工事を進めており、今年夏ごろから本格的に工事に着手、平成29年度の供用開始を予定。

・利便性・回遊性の向上

完成すれば、観光や通勤、通学などで広島駅を利用する人だけでなく、切符を持たなくても市民が気軽に自由に回遊することができ、買い物やレジャーにも活用することができる。

JRが検討している店舗計画と合わせて、通路自体の新たな賑わいも期待できる。今後は、併せて整備する新幹線口ペDESTリアンデッキにつなげるなど、安全で快適な歩行者空間を進めていく予定。いち早い実現が望まれる。

(広島市の広報「市民と市政」2012.6.1号より抜粋)



広島駅配置図



自由通路パース

○アストラムラインの延伸計画

・これまでの経緯

広島市が1999年に策定した公共交通体系基本計画にアストラムライン3路線（西風新都線・東西線・南北線）の延伸計画が盛り込まれたが、財政難のため2004年に事業を凍結する。

・西風新都線ルートの見直し

西風新都線の予定ルートは、市が1999年に設定した現在の終点の広域公園前駅とJR西広島駅を結び、当時の試算で事業費約700億円、1日平均2万人の利用客を見込んでいる。

沿線の大規模開発エリア「ひろしま西風新都」で大型商業施設を備えた複合団地の開発計画が動き始めたのを受け、市はアストラムライン延伸計画について来年度中に事業化の可否を判断するための検討を進めている。その過程を見守っていききたい。

(中国新聞(2012.6.22付)より抜粋)



中国新聞(2012.6.22付)

2. まちづくり関連の団体等の動き

- ・アートプラネットG、ひろしまジン大学、セトラひろしま、中国・地域づくり交流会等、ひろしまのまちづくりに関わっておられるNPO等の団体の動きを紹介する予定です。

3. お知らせ

○皆様の身近なニュース等があれば、下記に投稿をお寄せください。

- ・投稿先：メールアドレス：hirosima.idea.c@urban.jp、広島アイデアコンペ実行委員会事務局
住所：〒733-0002 広島市西区楠木町1-9-7、編集委員長 瀧口信二